



Vol.77 12月号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F富山市民国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報委員会

国際交流フェスティバル 2013 in TOYAMA



11月10日(日)「異文化理解と交流」を深めることをテーマに、国際交流フェスティバルを開催しました。富山駅南 CiC ビル内には、29の国際交流団体と今までで最多の37カ国のブースが設置されました。

外国人カラオケ大会で始まったフェスティバルは、初参加国が10カ国もあり、世界の言葉(ありがとう)集めのラリーに子どもたちが目を輝かせて各国ブースを回るなど、多彩なイベントが繰り広げられました。

当日は、激しい雨と風の悪天候にもかかわらず、5階の各国紹介ブースは身動きが取れないほどの大盛況で、5,400人という多くの方々にご来場いただき、にぎやかなフェスティバルとなりました。

国際交流 TCA カレッジ

「富山とパプアニューギニアをつなぐ架け橋に」

バハウ サイモン ピーターさん
(富山大学国際交流センター副センター長・教授)

日時 2月6日(木)
14:00 ~ 16:00

場所 富山市民国際交流センター会議室

入場料 無料

定員 70名(申込順)

※講義は日本語です。



第2回「ランゾウ富山市政策参与」公開特別講座

ランゾウ富山市政策参与が語る
「富山市を国際観光都市にする方法」
“Making Toyama City
an International Tourist Destination”
ジョセフ ランゾウ稲田博士



日時 3月13日(木)
14:00 ~ 15:30

場所 富山市民国際交流センター会議室

入場料 無料

定員 70名(申込順)

※講義は英語で行われますが、日本語への通訳あり。

新春国際交流のつどい 2014 開催!

いろいろな国の人たちと、日本文化を体験しながら楽しく交流しましょ!

日時 1月19日(日) 14:00 ~ 16:00

場所 CiC 5F 多目的ホール

会費/会員 1,000円 外国人 500円

一般 1,200円

定員 150名

※民族衣装での参加は、100円引き
※小学生以下無料

日本文化体験コーナー(羽根つき、こま、折り紙、抹茶)、
ウルトラクイズ、ミニ運動会、じゃんけん大会 他

私たちの活動説明会

私たちの輪に入りませんか。

日時 2月22日(土) 14:00 ~ 15:30

場所 富山市民国際交流センター会議室

内容 活動説明、体験談発表、ティーパーティー
※参加費無料

一緒に活動してみませんか!?



募集中です!!

特集 国際交流フェスティバル 2013

11/10
(日)

主催／国際交流フェスティバル 2013 実行委員会

共催／富山市民国際交流協会、(公財)とやま国際センター、JICA 北陸

富山駅南 CiC ビル

多くのブースが出展し、世界の踊りや歌を楽しみながら、食べて、歌って、踊ってにぎやかな祭典となりました。

今年の開会式は、北東俊夫実行委員長の開会宣言に続き、富山市長 森 雅志様（代理：文化国際課長 恒川 哲二様）からご祝辞をいただきました。

観る・聴く

カラオケ大会
優勝者



ルーマニアのジプシー音楽(5F)

パラグアイのボトルダンス(5F)

ボリビアの音楽(5F)



3階では、恒例となったロシア語スピーチコンテストや富山国際大学留学生による「異文化体験」の発表、世界のフォークソングの演奏など硬軟織り交ぜた催しがありました。

5階ワールドステージでは、趣向を凝らしたステージが繰り広げられました。今回初登場は、愛らしいガラパゴスの踊りと華やかなスペインの歌と踊り、ルーマニアのジプシー音楽の演奏でした。ロシアの子どもたちは、今年もフェスティバルに合わせて来日してくれて、かわいらしい歌声を聴かせてくれました。



ベトナムのバンブーダンス(5F)



ロシアのこどもたちによる歌(5F)

ガラパゴスの踊り(5F)

交流する

3階では、ハワイアンカフェにベトナムも加わってオリエンタルムードあふれるカフェとなりました。

5階ホールの各国紹介ブースは、今までで最多の37カ国の参加でした。参加国が多い分、手狭になってしまったにも関わらず、皆さん自分の国の紹介にとっても熱心でした。

ロシアンティーコーナーでは、手作りのジャムやお菓子とおしゃべりで大賑わいで、皆さんお口の休むヒマがなかったようです。



ロシアンティー体験(5F)



各国紹介ブース(5F)



日本ブース(5F)



ハワイアン&ベトナムカフェ(3F)

ステージ

- ①各国ブース紹介
- ②外国人カラオケ大会
- ③ロシアのこどもたちの歌と踊り
- ④ベトナムバンブーダンス
- ⑤カポエイラ
- ⑥マレーシア舞踊
- ⑦パラグアイのボトルダンス
- ⑧コンゴの歌
- ⑨ネパールの音楽と踊り
- ⑩京劇「変面」
- ⑪ボリビアの音楽と踊り
- ⑫スペインの歌と踊り
- ⑬ガラパゴスの踊り
- ⑭雅楽演奏
- ⑮ルーマニア ジプシー音楽

参加 国際交流フェスティバル 2013 年

Елена Свириденко(ロシア)

Великий русский писатель Лев Толстой говорил: 'Совершенствоваться можно только в жизни и в общении между людьми'. Для группы школьников из Приморского края уникальной возможностью для развития и совершенствования стала образовательная поездка в Японию и участие в Международном фестивале общения в г. Тояма, который состоялся 10 ноября 2013 года. В фестивале участвовали делегации из 37 стран, которые представили свою культуру, традиции, национальные кухни. Наши ребята с огромным удовольствием принимали участие в программе фестиваля: слушали песни, пробовали экзотические блюда восточной кухни, рассматривали фотографии и изделия национальной культуры, представленные на выставке. С большим интересом они осваивали основы национального творчества и ремесел у мастеров из других стран, проводивших мастер-классы. Большой интерес все гости фестиваля проявили к национальным истокам каждой страны-

участника мероприятия. Можно было в течение одного дня прикоснуться к истории и традициям разных стран и континентов: сделать поделку-оригами, послушать национальный музыкальный инструмент, освоить роспись народной игрушки, сплести из бисера оберег...

В свою очередь делегация из России организовала чаепитие для участников фестиваля. Мы угощали всех желающих ароматным чаем, душистым медом, домашним вареньем, национальными русскими пряниками, баранками, вкусными конфетами.

Организаторам фестиваля удалось создать атмосферу праздника, доверия и взаимного уважения. Это позволило людям, говорящим на 37 разных языках, прекрасно взаимодействовать, понимать друг друга и обмениваться опытом.

Мы выражаем искреннюю благодарность организаторам фестиваля, Обществу дружбы 'Тояма-Россия', лично его председателю Огава Акира за приглашение на фестиваль и благодарим Накадзиму-сан и Кането-сан за теплый прием и организацию нашего пребывания в Японии. Благодаря вам далекая Япония для нас стала ближе.



食べる

1階や5階ではインドのカレーやインドネシアのナシゴレンに加えて今年は、ルーマニアやポーランドといった県内ではなかなか味わう機会のないメニューがそろいました。



知る

とやまの国際交流団体・協力団体のスタンプを集めながら、1階・3階・5階の団体活動紹介パネルに目をとめる来場者の姿がたくさんありました。

3階の「災害時の避難」では、非常持出袋の袋詰め、避難訓練、非常食の試食がありました。非常持出袋のレクチャーでは、袋の中に入れておくレジ袋や古新聞が、非常時には靴や毛布といった本来の目的とは異なる用途で役立つことに、皆さんは興味津々でした。



非常持出袋を片手に(3F)



団体活動紹介ブース(1F)

体験する

日本の着物を
着てみよう！
(3F)



中国花文字(5F)

初企画の「おはし de 豆つかみ」は、子どもだけでなく大人の参加も多くみられました。言葉を介せず楽しめるとあって、外国の方の参加も多く、タイムを競っての熱いバトルが繰り広げられました。

消しゴムハンコづくりやヘナ体験、中国結芸作りでは、終日多くの参加者に担当スタッフは息つく暇もないほどで、大盛況のうれしい悲鳴でした。



ロシアの小物作り(3F)



消しゴムはんこ習字(3F)



感謝祭のカードを作ろう！(3F)



ポルトガル語で遊ぼう！(3F)



中国結芸作り(3F)



おはしde 豆つかみ(3F)



ヘナ体験(3F)



外国の絵本の読み聞かせ(3F)

ありがとうメッセージ

実行委員会より一言

国際交流フェスティバル2013にご来場のみなさま、実行委員会ボランティアスタッフのみなさま、本当にありがとうございました。

フィナーレは、ルーマニアから来日されたホンティラ クラウディウさんによるジプシー音楽でした。美しくも哀愁を帯びたヴァイオリンの音色に会場のみなさんは魅了され、このフェスティバルの閉会を惜しむかのようでした。

最後に、実行委員会副委員長のJICA北陸 堀内好夫支部長が閉会宣言を行いました。来年も、フェスティバルで再会することを楽しみにしています。

国際交流フェスティバルに参加して

P2の要約文です

スヴィリデンコ エレーナ (ロシア)

ロシアの偉大な作家レフ・トルストイは「人は、人生の中で、他者との交流を通してのみ成長できる。」と語っています。ロシア沿海地方の子供たちにとって国際交流フェスティバルへの参加は、成長するうえで良い機会となりました。

子供たちは、歌を聞き、東洋の料理を味わい、写真や各国文化の展示品を見学する、折り紙を折る、伝統楽器の音楽に耳を傾ける、伝統的な人形の装飾を体験する、ビーズを編むなど、とても楽しくフェスティバルに参加することができ、1日の間で各国・地域の様々な歴史や伝統に触れることがで

きました。

また、私たちはフェスティバルに来られた皆さんにロシアの飲み物と美味しいお茶、蜂蜜、家庭のジャム、お菓子でもてなしをしました。

実行委員会の皆さんの互いに尊敬し信頼する心や、楽しい雰囲気を作り出す努力のおかげで、37の異なる地域、異なる言語の人々が、お互いを理解しあうよい機会となりました。

私たちは、フェスティバルの主催者と富山ロシア協会の皆様に心から感謝の意を表明するとともに、皆さんのおかげで、日本が、身近な国になったことを大変うれしく思います。

多文化共生事業

富山まつり「越中おわら踊り」

8月3日(土) 城址大通り

外国人の方 31 名(12 カ国)と日本人 30 名の参加でした。

まず、それぞれお好みの色と柄の浴衣を選んで着せてもらいました。出発前の練習では、休憩も取らずに、先生を囲んで、熱心に振り付けの確認を繰り返して行っていました。

いざ、出発！大通りにはすでに多くの踊り手が集まり準備万端でした。我がグループも少しの練習の割には、皆さん上手に踊りの列に加わって楽しい時間を過ごしていました。



城址大通り

夏季日本語集中講座

8月5日(月)～10日(土)

テーマ「スキットで日本語を学ぼう！」

15名の受講者は、日常生活に即した内容で、入門・初級・中級に分かれて熱心に学びました。最終日の発表会では、スーパーや急患センター、駅の改札口といったシチュエーションで5日間の勉強の成果を披露し、特別レッスンでは、消しゴムハンコづくりやごみの分別を学びました。皆さんがこれを機会に継続して勉強をされることを願っています。



第1回「ランゾウ富山市政策参与」公開特別講座

8月24日(土) とやま市民交流館 学習室1～3

ランゾウ富山市政策参与が語る富山の魅力 “Why I Love Toyama”

講師 ジョセフ ランゾウ 稲田博士

学習室がほぼ満席となる中、博士のユーモアあふれる語り口とたくさんのスライドにより富山の魅力が紹介されました。

魅力の一つは、限られた狭い場所に、富山には、海・山の自然と都市の便利さが凝縮されて存在していること。二つは富山の人々の友好的で誠実な人柄。三つには富山の文化は立山曼荼羅に象徴されるように、この地域に限定されることなく地球規模の広がりの中に位置づけされていること。

そういう三つの魅力を富山の人たち自身が自覚して、世界に富山の魅力を発信していくことが大事なのだとして強調されました。そのあとたくさんの質問がありましたが、閉会後も何人もの方が残って博士の考え方について歓談しながら確認していました。



日本語ボランティア登録者研修会

8月24(土)

25名参加して「多読についてパート2」と題し研修しました。多読とはまだまだ馴染みの無い言葉ですが、分からない言葉をそのたびに辞書で引くのではなく、分かる分だけをどんどん読み進めて大体を把握する勉強法です。

最初は、分からない言葉が気になって読み進めることができないけど、慣れると読めるようになるというお話でした。



富山市総合防災訓練

事前研修会

9月7日(土)

事前研修会を開催し、22名が参加しました。最初に当協会の防災への取り組みを紹介した後、当日の流れや訓練の詳細、外国の方に通訳するときの表現方法について研修しました。

訓練に参加

富山市民球場周辺特設会場 9月28日(土)

例年の訓練(非常持出袋の袋詰め、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語による避難所対応訓練、医療通訳訓練、アナウンス訓練)に加えて、避難所における健康チェックや災害ボランティア本部の見学も行いました。健康チェックでは、避難所で保健師の方の質問内容を通訳しました。また、災害ボランティア本部の見学では、実際災害が起きた場合の本部での活動内容やボランティアの動きを学びました。

訓練を通じ、事前に知っておくことや、準備しておくことの大切さを痛感しました。

語学ボランティアと在住外国人 57 名(日本人 34 名、外国人 10 カ国 23 名)が参加した。



訓練を終えて

北陸都市国際交流連絡会 「日々の実践活動をネットワークする研究会 in 北陸都市」 9月21日(土) ウイング・ウイング高岡

「北陸で多文化共生に関する学びの場をつくろう in 高岡」というタイトルで、今回初めて高岡市のウイング・ウイング高岡にて開催し、北陸3県の市や国際交流協会の担当者15名が参加し、当協会より3名が参加した。

最初に今年7月に福井市で開催された研修会の内容について、ふくい市民国際交流協会より報告がありました。

その後のワークショップでは、①自己紹介②自分が関心のあること。③自分や組織が国際交流や多文化共生について抱えている課題の「3つのキーワード」について、グループ内でそれぞれ話し合い、「国際交流や多文化共生について抱えている課題」を全員で共有することができました。今後、来年度研修会の富山開催に向けて準備を進めてまいります。



ワークショップ

多文化共生語学ボランティア入門講座後期

日常の場面や災害時に、外国人をサポートする語学ボランティアを養成する講座です。コミュニケーションに必要な語彙・表現や文化背景等を学びます。対象言語は、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語です。

10月26日(土) 第1回 観光「グラス・アート・シャトル&ミュージアムバス」

今年10月10日から運行されているグラス・アート・ヒルズ富山と市役所を直通で結ぶ「グラス・アート・シャトル」と、2005年5月から運行されている市内の美術館や博物館を回るバス「ミュージアムバス」をとりあげ、「街を走っているバスを見た人から質問を受ける。」という会話状況設定で練習しました。ネイティブ講師からは年末年始という表現が、国によっては分かりづらいので、具体的に説明した方がよいとのアドバイスを受けた。



11月30日(土) 第2回 情報提供—子育て支援

「情報提供」では、「子育て支援」として、CiC 4階にあるこども図書館とこどもひろば、それから子育て支援センターとファミリーサポートセンターをとりあげました。

教室で練習した後、実際にCiC 4階に行って通訳練習をしました。

子育てについて様々な市の支援制度があることを知る良い機会となりました。ネイティブ講師からは、赤ちゃんは国によって何歳までなのか異なるため、通訳する場合は、その違いを理解した上で訳す必要があることなどのアドバイスを受けた。

第3回は1月25日(土)に防災関連の情報提供を予定しています。



こども図書館にて(4F)

委員会報告

文化交流

もっと知ろう世界のくらし

9月29日(日)

エジプト・アラブ共和国／シェリフ・モハメドさん

古代エジプト文明が栄えた中東・アフリカ地域の大国について、カイロ出身の富山大学の博士後期課程で漢方薬の研究をされているシェリフ モハメドさんに紹介いただいた。国土の大半は砂漠で、人口約8千万人の殆どがナイル川流域に住んでいる。人種はアラブ系が大半。夏は40℃から50℃にもなり、雨はほとんど降らないのでナイル川の水だけが頼りだが、流域10カ国の内、最下流に位置するエジプトより上流のエチオピアでダムが建設中のため、アスワンハイダムへの流入量が減り、節水が厳しい。ふんだんに水を使える日本に住んでいることに改めて感謝したとのことでした。最後に皆さんと飲んだハイビスカスのお茶も美味しかったです。



日帰り交流会 ポートラムと運河クルーズ

11月4日(月・祝)

日本人17名、外国人15名がCiC 1階に集合。ポートラムに乗って岩瀬に向かい、まず三味線を聞いてから、森家を見学しました。森家では、富山大学の留学生は、あまり日本人が興味を持たないだろう板の柂目や板目の違いに、興味深そうに友だちと話したり、写真を撮ったり、メモしたりしていました。展望台では、「あっ、中国が見える!」と眼下に広がる景色を堪能しました。帰りは、「水のエレベーター」ってどんなものかと中島閘門にワクワクしながら、富岩運河の水路上ラインに乗り込みました。水上からの紅葉を眺め、日ごろ見慣れた富山の景色も違って感じました。(文化交流は、自分の文化を知り、興味を持つことから始まるのだと思います。)



岩瀬大町公園の北前船の前にて

ボランティア

富山大学留学生センター日本語研修コース受講生ホームビジット

8月3日(土)

毎年富山大学と連携して実施しています。今回は中国からの留学生3名がホームビジットし日本の家庭を体験しました。

「ホームビジットを受け入れて」 石黒 咲子さん

1月に続いて今回も富山大学留学生3名のホームビジットを受け入れました。お昼ごはんにお好み焼きと焼きそばと一緒に作り、食後には猛暑の中、畑のブルーベリーをみんなで摘んでデザートにしました。仏壇の説明に興味を持っていたのが印象的でした。今回受け入れた3名は、とてもおとなしく、留学生でしたがそれぞれ個性があることを改めて感じました。※富山大学の留学生センターは、平成25年10月1日より国際交流センターに名称が変わりました。

料理交流会「いろいろな味噌汁」

8月28日(水) 富山市中央保健福祉センター

参加者 日本人9名、外国人6名

今回の料理交流会では外国人参加者のリクエストにより、いろいろな味噌汁を作りました。日本全国の味噌の話や、昆布やかつお節、煮干し、干しシイタケなどの和風だしについて説明がありました。だしのとり方やコツ、保存方法、選び方など、日本人参加者にも大いに参考になりました。

主菜は、ナスの田楽(でんがく)と卵豆腐を作りましたが、隠し包丁(田楽のナス)の入れ方に外国人参加者は、苦戦していました。



和風だしのとり方を学ぶ

料理交流会「秋の味覚を楽しみましょう」

10月17日(木) 富山市中央保健福祉センター

参加者 日本人9名、外国人5名

始めに血液中のコレステロール値に関する栄養クイズがありました。食物油の中でもオリーブオイルは、悪玉コレステロールのみを下げてくれるそうです。平均寿命は延びても、健康寿命が延びていない現状から、病気であっても重症化しないよう心がけることが大切だとのことでした。

炊きおこわに柿なます、豆乳みそ汁、さつま芋の包み揚げと秋の食材をふんだんに用いたメニューで、外国人参加者にはおこわに炊き込むぎんなんが、特にめずらしいようでした。



栄養クイズに挑戦

国際教養

ディスカバー富山

10月19日(土) 長慶寺・五百羅漢・民俗民芸村

参加者 日本人11名、外国人1名

外国人参加者が少なかったが、今までになく楽しいものとなった。そのわけは、参加者の中に外国生活の長かった人がいて日本人同士で英語を話すよい雰囲気ができており、その人を外国人に見立てて通訳案内できたからである。

いつもどおり五百羅漢を見た後、民俗民芸村の円山庵でお茶を戴き、ゆったりとした空気の中、話も弾む。センターで昼食をとった後、曇りがちなが心地よい気温の下、ひとつを除いてすべての博物館をいつもより時間を1時間延長して回り、和気藹々のうちに一日の日程を終えることができた。

皆さんに感謝する。



五百羅漢の前にて

多国言語文化交流クラス

8月3日(土) トルコ共和国&トルコ語／講師 Yeşim Sema Ünsever さん

トルコは、黒海・地中海・エーゲ海に面し、アジアとヨーロッパの間に位置している。東にはアララト山など高い山が有り西は首都アンカラやイスタンブール、イズミル等の都市が広がる。

四季があり、国土の大半を占める内陸部は夏は40度に冬は-20度にもなり雪が降る地域もある。民族は南東部を中心に、クルド人・アルメニア人・ギリシャ人・ユダヤ人などで言語はトルコ語です。

宗教はイスラム教(スンニ派・アレヴィーラ派)が大部分を占め、奇麗なブルーモスクが有名である。祭日はラマダン等イスラム教の祭りと独立してからの感謝の日などたくさんある。教育は、小・中・高・各4年制であり、大学入試には日本のようにテストもランクもある。

アンカラ出身のイユシムさんは、金沢大学で土木工学の研究をしている。



9月14日(土) ネパール連邦民主共和国&ネパール語／講師 Subash Adhikari さん

ネパールは世界トップ10の高さに入る山の内8つを有し、海拔4000m以上のヒマラヤ山脈に住むシェルパ族は有名である。海拔700～4000mの中央部丘陵地帯、70～700mのタライ平地など3地帯があり、インド系民族は鼻が高く、チベット・ミャンマー系民族は鼻が低い。祭りもたくさん有り、ダサインという祭りは15日間もあり学校も休みで日本のお盆のようで、海外に住んでいる人たちも帰国する。

ティハールはヒンドゥー教の5日間の祭りで(1)カラス(2)犬(3)雌牛(4)雄牛(5)兄弟という順番で祝う、ホリーは3月にある色の祭りでインドにもある。ティーズは夏に有る女性の祭りで前日の夜にご馳走を食べ、祭りの日は断食をする。一日中踊りっぱなし、持っているアクセサリーを全部付けて赤い服を着て着飾るので女性が一番美しい日である。義務教育制度は無いので識字率が低く65.9%(2011年)公立の初等科は無料だが家の仕事を手伝うため、通う人が少ない。交通はバスしかないので乗車率200%と超満員だ。今まで、民族間の戦いは無いそうです。



10月5日(土) マレーシア & マレー語／講師 Yen Ee Taiui さん

富大留学生 Yen Ee Taiui さんは流暢で綺麗な日本語とカラフルな映像を用いながら、自国の歴史や国旗のいわれ、政治、王制、行事や食べ物、歴史的建造物・自然遺産等について、とても分かりやすく説明されました。我々日本人にどう伝えれば納得しやすいか? を考え周到に準備されたものでした。

大戦で焦土と化した日本が、短期間に世界第二の経済大国になった。その手法を見習おうとマハティール前大統領が掲げたスローガン= Look east. 政策。この旗印の下に、難しい多民族を束ねながら発展させてきたマレーシアは『住みたい国世界一』に連続5年間も選ばれています。しかも第二位のタイに倍くらいの差をつけているのです。片や日本は今、財政赤字、増税、年金問題、産業の空洞化、少子高齢化、人口減少、大震災の可能性、原発リスクなど、解消の目途が全く立たない数多くの問題に直面しています。



11月2日(土) ガラパゴス諸島(エクアドル共和国) & スペイン語／講師 Sofia Micaela Solis Coello さん

とっても珍しい国、エクアドル共和国の『ガラパゴス』出身の、Sofia Micaela Solis Coello さんのお話。小さいころから環境について考える生活をしていて、ごみは3種に分け出す。(オーガニック、ペーパー、不燃物) 食べ物は普段シーフードを食べている。産業は観光業と漁業であり、農業もあるが、自分の家族で食べる分しか作らない。種は生態系に問題が無いものを輸入することができる。生態系を守るため空港でのチェックが厳しい。(虫や微生物種) 昔ながらの作物は動物が食べるサボテン等がある。人間が食べるものは輸入されたものである。最後にガラパゴスの素敵なダンスを踊ってくれた。その時に着ていたドレスは手作りで生地から選び、デザインには海の生き物があつた。(カメやサメ) などが描かれていてすごくきれいなドレスだった。音楽につられ隣で中国語の勉強をしていた人達が氣勢で見学に来て、ソフィアさんと一緒に手を繋いで踊られるなど、とても楽しく有意義な時間でした。



英語スピーチと討論の会



9月10日(火)

- スピーカー
Mohammad Shahid さん(インド)
- トピック
"My Experience in Japan"



10月8日(火)

- スピーカー
Simon Peter Bahau さん(ババニューギニア)
- トピック
"Relationship between Papua New Guinea and Japan"



11月12日(火)

- スピーカー
Calen Keath さん(カナダ)
- トピック
"Tourism and Toyama"

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642
FAX 076(444)0643

これからの行事予定 12月～3月

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
多国言語文化交流クラス ドイツ&ドイツ語	12月7日(土) 13:30～15:00	当センター	国際教養	会員無料 一般 200円	会員・一般
英語スピーチと討論の会 スピーカー Wittawat busaracumwong さん	12月10日(火) 18:30～20:00	当センター	国際教養	会員無料 一般 200円	会員・一般
英語スピーチと討論の会 スピーカー エヴェルソン レモスさん	1月14日(火) 18:30～20:00	当センター	国際教養	会員無料 一般 200円	会員・一般
新春国際交流のつどい 2014	1月19日(日) 14:00～16:00	CiC 多目的ホール	合同	1頁参照	会員・外国人・一般
多文化共生語学ボランティア 入門講座後期③	1月25日(土) 13:30～15:30	当センター	—	会員無料 一般 500円	会員・一般
国際交流TCAカレッジ 講師 バイウ サイモン ピーターさん	2月6日(木) 14:00～16:00	当センター	総務企画	無料	会員・一般
スポーツ交流会 「ボウリング大会」	2月9日(日) 11:15～15:00	—	文化交流	500円	会員・外国人
もっと知ろう世界の暮らし 「ブラジル クリチバ」 講師 伊東 セシリア 久子さん	2月16日(日) 13:30～15:00	当センター	文化交流	会員無料 一般 200円	会員・外国人
私たちの活動説明会	2月22日(土) 14:00～15:30	当センター	合同	無料	会員・一般
北陸都市国際交流連絡会 「日々の実践活動をネットワークする研究会 in 北陸都市」 研修会	3月1日(土) 13:30～15:30	当センター	—	未定	会員・一般
華道教室	3月2日(日) 未定	当センター	文化交流	未定	会員・外国人
料理交流会 (5) ひな祭り	3月4日(火) 10:00～13:00	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
公開特別講座 講師 ジョセフ ランゾウ稲田さん	3月13日(木) 14:00～15:30	当センター	合同	無料	会員・一般
日本語ボランティア登録者研修会	3月15日(土) 10:30～12:30	当センター	—	会員無料 一般 200円	対象 会員・一般
中国語集中講座	3月 未定	当センター	国際教養	未定	会員・一般

※休館日 1月1日(元日)・21日(火)、2月18日(火)・19日(水)、3月なし

※行事につきましては、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp> でご確認ください、協会までお問い合わせください。

東日本大震災義援金募金に 引き続きご協力をお願いします。

義援金募金活動に多くのご協力をいただき、誠にありがとうございます。みなさまからお寄せいただいた募金は、日本赤十字社を通じて復興支援に役立てていただきます。引き続きご協力をお願いします。

(ボランティア委員会)

“勉強お助け隊” ボランティア募集

外国籍児童・生徒への学習支援事業として“勉強お助け隊”を開催していますが、宿題等を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

毎週木曜日 16:00～17:30

毎週日曜日 10:00～11:30

おめでとうございます

平成 25 年度
とやま国際草の根交流賞受賞

小西 容子さん

● 会員募集中 ●

富山市民国際交流協会では、国際理解・国際交流や多文化共生のための事業を開催しています。一緒に活動してみませんか！入会をお待ちしています。

★★★★ ご入会特典 ★★★★★

- 各種イベントに参画できます。
- 各種講座や研修会に参加できます。
- 協会広報誌「TCAニュース」をお届けします。

ほかいろいろあります

年 会 費

個 人 会 員	3,000 円
家 族 “	5,000 円
団体・法人 “	10,000 円

編集後記

今年の国際交流フェスティバルでは、初めて「世界のありがとう」を集めることに挑戦しました。

いつもは写真撮影がメインでしたが、これがすごく楽しいものでした。どの国の方々も笑顔で楽しいお話をしてくださり感謝感謝です。それと、自分が海外に行ってお国自慢として民謡や踊りが出来るかと振り返ると出来ないことに気づきなんだか残念に思えて、何か習得しようと思った1日でした。

広報委員会